

NY マーケットレポート (2014 年 10 月 30 日)

NY 市場では、序盤に発表された第 3 四半期 GDP 速報値が予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、指標結果を受けて欧米の株価も上昇する動きとなったことから、投資家のリスク志向の動きも強まり、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、ドル/円は利益確定の動きなどから、一時下げる場面もあった。そして、GPIF は、国内債券を 35% に下げ、日本株を 25% に引き上げる新しい運用比率の目安を発表する見通しとの電子版記事の報道を受けて、円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は一段の上昇となった。ドル/円は、一時 109.47 まで上昇し、10 月 6 日以来の高値を付ける動きとなった。

2014/10/30 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	109.18	109.19	108.75
EUR/JPY	137.44	137.71	137.34
GBP/JPY	174.48	174.52	174.00
AUD/JPY	95.72	95.79	95.38
EUR/USD	1.2590	1.2640	1.2586

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	109.31	108.95
EUR/JPY	137.67	137.04
GBP/JPY	174.62	174.25
AUD/JPY	95.97	95.71
EUR/USD	1.2599	1.2555

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15658.20	+104.29
ハンセン指数	23702.04	-117.83
上海総合	2391.08	+18.05
韓国総合指数	1958.93	-2.24
豪ASX200	5476.20	+28.52
インドSENSEX指数	27346.33	+248.16
シンガポールST指数	3234.31	+10.28

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6463.55	+9.68
仏CAC40	4141.24	+30.60
独DAX	9114.84	+32.03
ST欧州600	330.71	+1.93
西IBEX35指数	10263.70	+15.90
伊FTSE MIB指数	19194.61	+37.20
南ア 全株指数	48660.44	-456.32

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	109.27	109.47	108.81
EUR/JPY	137.77	138.06	137.16
GBP/JPY	174.83	175.17	174.25
AUD/JPY	96.48	96.68	95.71
NZD/JPY	85.67	85.91	84.87
EUR/USD	1.2608	1.2632	1.2547
AUD/USD	0.8830	0.8840	0.8759

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17195.42	+221.11
S&P500	1994.65	+12.35
NASDAQ	4566.14	+16.91
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14458.69	-68.88
ロシアボルサ指数	44599.27	+360.33
ブラジルボベスパ指数	52336.83	+1287.51

10/31 経済指標スケジュール

08:30 【日】9月家計調査消費支出・9月消費者物価指数
 08:30 【日】9月失業率・9月有効求人倍率
 09:05 【英】10月GfK消費者信頼感調査
 09:30 【豪】3Q生産者物価指数
 11:00 【シンガポール】3Q失業率
 14:00 【日】9月建設工事受注・9月住宅着工戸数
 15:00 【日】10月経済・物価情勢の展望
 16:00 【独】9月小売売上高指数
 17:00 【トルコ】9月貿易収支
 18:00 【ノルウェー】10月失業率
 19:00 【欧】10月消費者物価指数
 19:00 【欧】9月失業率
 21:00 【南ア】9月貿易収支
 21:30 【カナダ】8月GDP
 21:30 【米】9月個人所得・9月個人支出
 21:30 【米】3Q雇用コスト指数
 21:30 【米】9月PCEデフレーター
 22:00 【米】10月ミルウォーキー購買部協会景気指数
 22:45 【米】10月シカゴ購買部協会景気指数
 22:55 【米】10月ミシガン大学消費者信頼感指数
 00:00 【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1198.60	-26.30
NY 原油	81.12	-1.08
CMEコーン	374.00	-1.25
CBOT 大豆	1029.75	-19.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.47%	0.49%
3年債	0.89%	0.90%
5年債	1.57%	1.59%
7年債	2.00%	2.01%
10年債	2.31%	2.32%
30年債	3.05%	3.05%

10/31 主要会場・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 109.02 ユーロ/円 137.21 ユーロ/ドル 1.2585

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

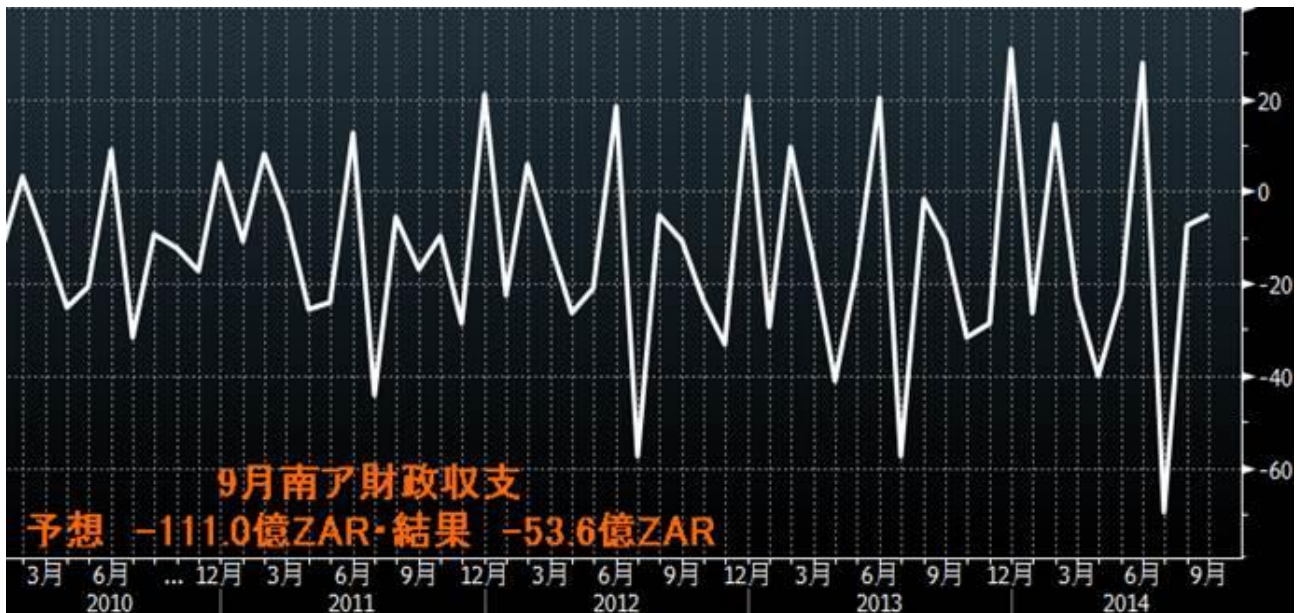
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6392.29	-61.58	ダウ INDEX FUTURE	16845	-79
仏 CAC40	4066.64	-44.00	S&P500 FUTURE	1961.40	-10.80
独 DAX	8935.68	-147.13	NASDAQ FUTURE	4048.50	-23.75

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月南ア財政収支 -53.6億 ZAR (予想 -111.0億 ZAR・前回 -73.3億 ZAR)



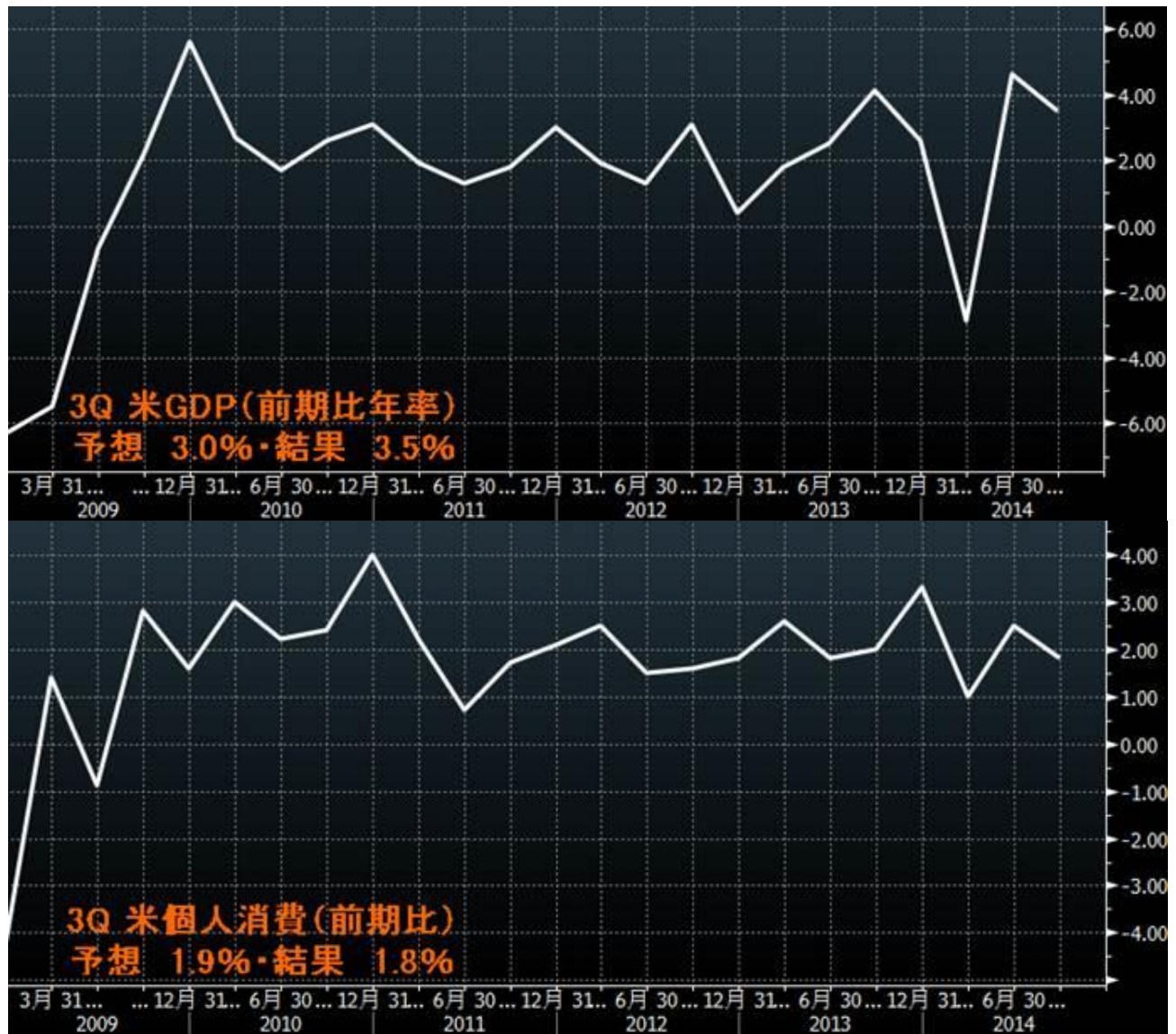
(出所: ブルームバーグ)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 米 GDP (前期比年率) 3.5% (予想 3.0%・前回 4.6%)

3Q 米個人消費 (前期比) 1.8% (予想 1.9%・前回 2.5%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米 GDP ▶

	3Q 速報	2Q	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	3.5	4.6	-2.1	3.5	4.5	1.8	2.7
個人消費	1.8	2.5	1.2	3.7	2.0	1.8	3.6
耐久消費財	7.2	14.1	3.2	5.7	4.9	4.5	8.5
非耐久消費財	1.1	2.2	0.0	2.7	2.8	-0.2	1.8
サービス	1.1	0.9	1.3	3.7	1.3	2.0	2.4
政府支出	4.6	1.7	-0.8	-3.8	0.2	0.2	-3.9
最終需要	4.2	3.2	-1.0	3.9	3.0	1.5	2.0
国内最終需要	2.7	3.4	-1.0	2.7	2.3	1.9	2.0

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 28.7 万件（予想 28.5 万件・前回 28.4 万件）
前回発表の 28.3 万件から 28.4 万件に修正

失業保険継続受給者数 238.4 万人（予想 235.2 万人・前回 235.5 万人）
前回発表の 235.1 万人から 235.5 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

申請件数		前週比	4 週移動平均	受給者数	受給者比率
14/10/18	287,000	+3,000	281,000	*****	*****
14/10/18	284,000	+18,000	281,250	2,384,000	1.8%
14/10/11	266,000	-21,000	284,000	2,355,000	1.8%
14/10/04	287,000	-1,000	287,750	2,389,000	1.8%
14/09/27	288,000	-7,000	295,000	2,382,000	1.8%
14/09/20	295,000	+14,000	299,000	2,402,000	1.8%
14/09/13	281,000	-35,000	299,750	2,442,000	1.8%
14/09/06	316,000	+12,000	304,250	2,432,000	1.8%
14/08/30	304,000	+6,000	303,250	2,492,000	1.9%
14/08/23	298,000	-1,000	299,750	2,478,000	1.9%
14/08/16	299,000	-13,000	301,000	2,528,000	1.9%
14/08/09	312,000	+22,000	296,000	2,502,000	1.9%
14/08/02	290,000	-13,000	293,750	2,549,000	1.9%

受給者数は集計が 1 週間遅れる



22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月独消費者物価指数(前月比) -0.3%(予想 -0.1%・前回 0.0%)

10月独消費者物価指数(前年比) 0.8%(予想 0.9%・前回 0.8%)

10月独EU基準消費者物価指数(前月比) -0.3%(予想 -0.1%・前回 0.0%)

10月独EU基準消費者物価指数(前年比) 0.7%(予想 0.9%・前回 0.8%)





(出所:ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17022.02	+47.71
ナスダック	4533.62	-15.60

(出所:SBILM)

＜ 経済指標のポイント ＞

(1) 米 7-9 月期の GDP 速報値は、年率換算で前期比+3.5%と 4-6 月期の+4.6%からは縮小したものの、市場予想の+3.0%を上回り、米経済の順調な回復ぶりを示した。個人消費や設備投資が引き続き伸びたほか、政府支出も大きく増えたことが要因となった。

①米 GDP の約 7 割を占める個人消費が+1.8%、自動車・同部品などの耐久財が+7.2%と前期の+14.1%から増加率は縮んだものの 13 四半期連続で増加した。また、非耐久財が+1.1%、サービスが+1.1%と堅調な伸びとなった。

②設備投資は+5.5%となり、インフラ、設備機器、知的財産権のいずれもプラスを維持した。また、住宅投資は+1.8%と前期の+8.8%から伸び幅が減速、在庫投資もマイナスに転じた。

③輸出は+7.8%と 2 四半期連続で増加。モノの大きな伸びが続いたほか、サービスも増えた。一方輸入は-1.7%となり、外需寄与度は 3 四半期ぶりにプラスに転じた。

④政府部門は+4.6%と伸びが拡大し、2009 年 4-6 月期以来の大きな増加率となった。連邦政府支出が+10.0%と 8 四半期ぶりに増加したほか、州・地方 政府もプラスとなった。

⑤個人消費支出物価指数は、前年同期比で+1.5%と、上昇率は 4-6 月期の+1.6 から縮み、連邦準備制度が物価安定の目安としている 2%を引き続き下回った。前期比は+1.2%となり、2013 年 10-12 月期以来の低い上昇率にとどまった。またコア PCB 物価指数は、前年同期比+1.5%となった。

(2) 米失業保険申請件数は、前週比+0.3 万件的の 28.7 万件的となり、市場予想の 28.3 万件的をやや上回った。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-250 件の 28.1 万件的。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+2.9 万人の 238.4 万人となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-4500 人の 237 万 7500 人となり、2001 年 1 月 13 日までの週以来の低い水準となった。また、受給者比率は、前週から横ばいの 1.8%。

(3) ドイツ連邦統計局が発表した 10 月の消費者物価指数速報値は、EU 基準で前年同月比+0.7%と、市場予想の+0.9%を下回る結果となった。ユーロ圏で経済規模が最大のドイツの低インフレが続いていることから、ユーロ圏の低インフレが改善される見通しはさらに遠のいた。域内インフレ率は 2013 年の序盤から ECB が目安とする 2%弱の水準を下回っている。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17125.42 (+151.11)、 S&P500 1987.20 (+4.90)、 ナスダック 4545.20 (-4.03)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ドイツの10月の消費者物価指数が市場予想を下回り、ユーロ圏のデフレ懸念が強まったことから、米国債の逃避的な買いが先行した。ただ、米国の7-9月期のGDPが予想を上回ったことをきっかけに売られる場面もあり、相場の上げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30年債が3.02%（前日3.05%）、10年債が2.29%（2.32%）、7年債が1.99%（2.01%）、5年債が1.57%（1.59%）、3年債が0.88%（0.91%）、2年債が0.47%（0.49%）。

《 欧州のポイント 》

①スペイン国家統計局が発表した第3・四半期GDP速報値は、前期比+0.5%と市場予想と一致したが、第2・四半期の+0.6%からは鈍化した。第3・四半期GDPは、前年同期比では+1.6%で、第2・四半期の+1.3%から加速した。

②欧州委員会が発表した10月のユーロ圏景況感指数は100.7となり、9月の99.9から上昇し、市場予想の99.7を上回った。全ての業種で改善がみられたが、特に小売りと建設セクターが著しかった。また、消費者インフレ期待指数は5.3となり前月の4.0から上昇した。当該指数は、2013年12月以来ほぼ継続的に低下していた。また、製造業の販売価格期待指数も0.2と7月以来のプラスとなり、デフレ懸念の後退を示した。

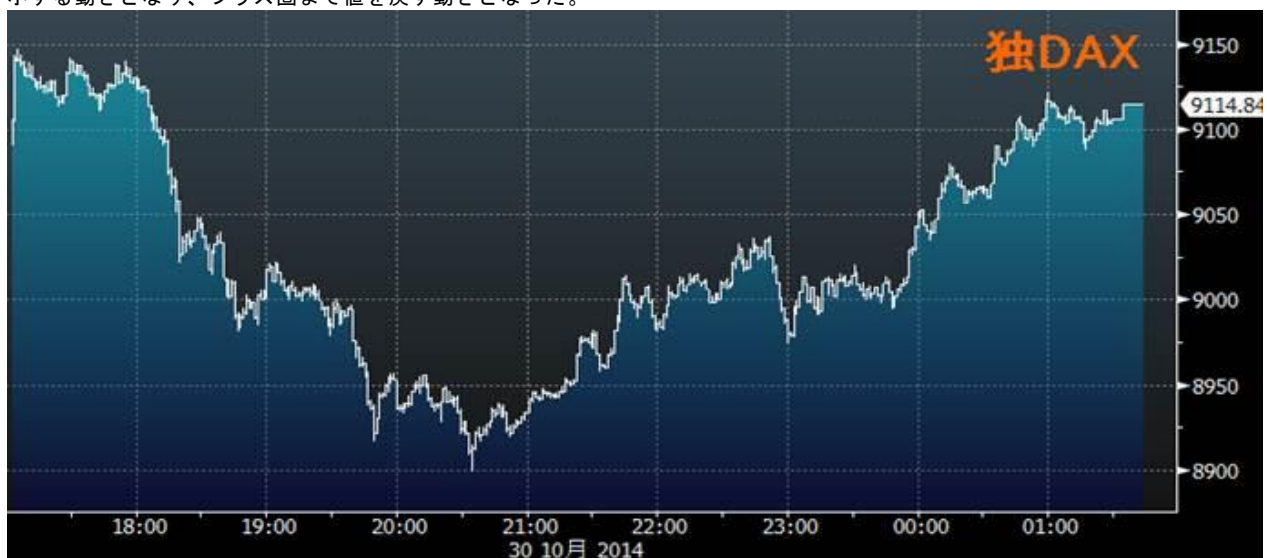
③欧州銀行監督機構（EBA）のエンリャ議長は、結果を公表したばかりの銀行ストレステストに関し、合格した銀行も含めてユーロ圏の銀行は過剰な安心感を抱くべきではないと警告した。議長は会議で、「合格行も含め、すべてが終了したわけではない」と述べた。ECBが実施したストレステストでは、2013年末時点でユーロ圏大手行の約5分の1が不合格となった。その後、大半の銀行が資本増強に動いた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6463.55	+9.68
仏 CAC40	4141.24	+30.60
独 DAX	9114.84	+32.03
ストック欧州 600 指数	330.71	+1.93
ユーロファースト 300 指数	1327.58	+8.24
スペイン IBEX35 指数	10263.70	+15.90
イタリア FTSE MIB 指数	19194.61	+37.20
南ア アフリカ全株指数	48660.44	-456.32

（出所：SBILM）

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、7-9月期の米GDPが市場予想を上回ったことで、米経済の先行き期待による買いが入り、主要株価は下げ幅を縮小する動きとなり、プラス圏まで値を戻す動きとなった。



（出所：ブルームバーク）

2 : 00

《米財務省 7 年債入札》

最高落札利回り 2.018% (前回 2.235%)
 最低落札利回り 1.919% (前回 2.117%)
 最高利回り落札比率 . . . 95.02% (前回 61.20%)
 応札倍率 2.42 倍 (前回 1.48 倍)

2 : 05

公的年金運用、国内債券 35%に下げ日本株 25%～電子版記事



(出所: ネットダニアー)

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 26.30 ドル安の 1 オンス=1198.60 ドルで取引を終了した。

4 : 30

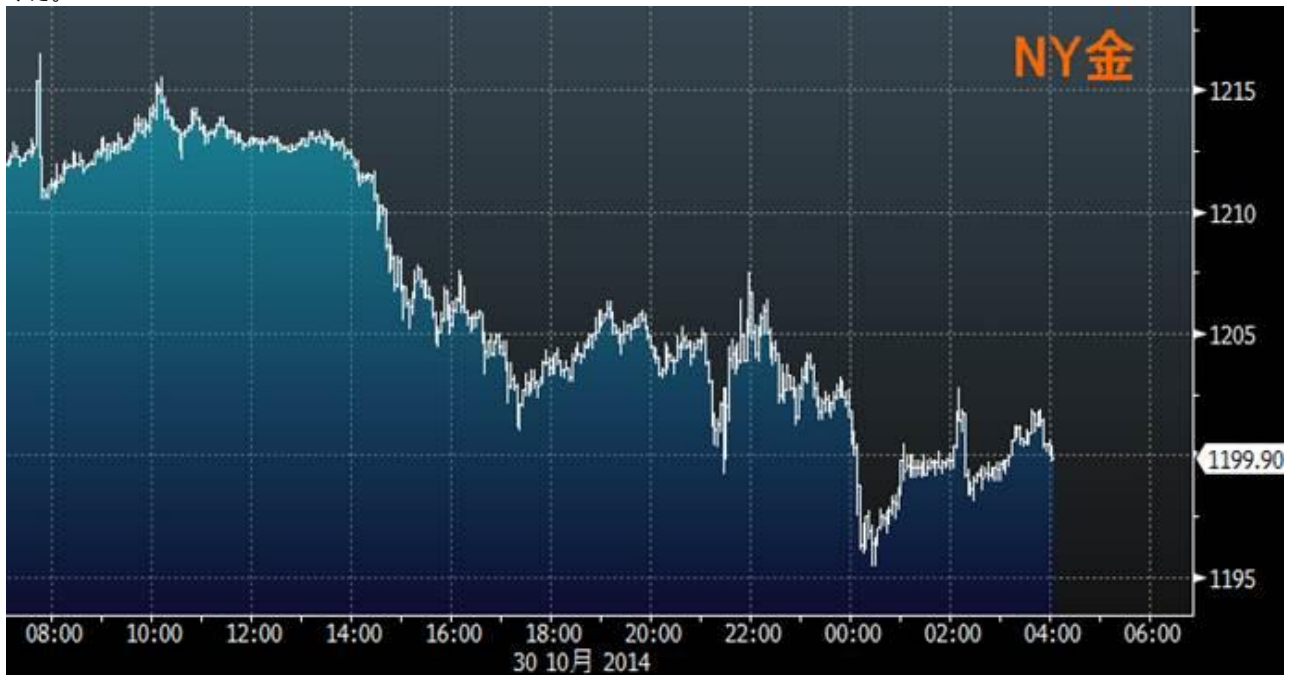
NY 原油は、中心限月が前日比 1.08 ドル安の 1 バレル=81.12 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1198.60	-26.30
NY 原油	81.12	-1.08

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

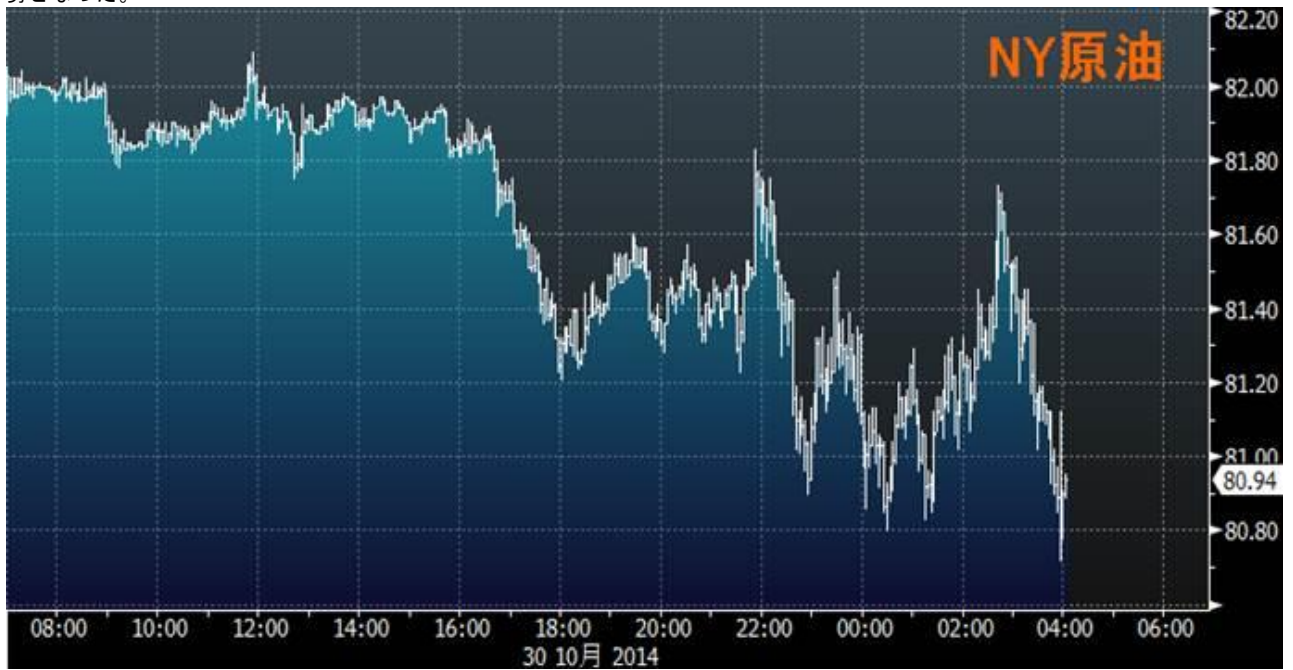
NY 金は、米 FRB が前日発表した FOMC 声明で雇用情勢の判断を上方修正したことに加え、7-9 月期の米 GDP が市場予想を上回ったことで利上げ前倒し観測が強まったことから売りが優勢となった。終値ベースでは、約 1 ヶ月ぶりに 1200 ドルを割り込んで引けた。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、米国が早期に利上げするとの観測でドルが主要通貨に対して上昇したため、ドル建ての原油の割高感から売りが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17195.42	+221.11	17223.96	16920.76
S&P500 種	1994.65	+12.35	1999.40	1974.75
ナスダック	4566.14	+16.91	4575.50	4521.79

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、7-9 月期の米 GDP 速報値の伸び率が市場予想を上回ったことが好感されたものの、主要株価はまちまちの展開が続いた。その後は、終盤まで堅調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤はやや軟調な場面もあったが、その後は堅調な動きが続き、午後には一時前日比で 249 ドル高まで上昇する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	109.27	109.47	108.81
EUR/JPY	137.77	138.06	137.16
GBP/JPY	174.83	175.17	174.25
AUD/JPY	96.48	96.68	95.71
NZD/JPY	85.67	85.91	84.87
EUR/USD	1.2608	1.2632	1.2547
AUD/USD	0.8830	0.8840	0.8759

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米 GDP が予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、堅調な株価動向を背景に、クロス円も堅調な動きとなり、円が大半の主要通貨に対して売られる動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供:SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。